

個性を認め、理解する

幼児期の発達障がい（神経発達症）

◎問い合わせ 都城市保健センター ☎36-5661

自閉スペクトラム症などの発達障

がいの原因は解明されていませんが、生まれつきの脳の発達特性が関係している、育て方や本人の努力不足が原因ではありません。

発達障がいのある人が、個々の能力を生かしていけるよう、幼児期のうちからの「気付き」と「適切なサポート」とともに、私たち一人一人が発達障がいへの理解を深める必要があります。

特性を理解し、個性を認める

発達障がいには、いくつかの特性があり、見た目には、分かりにくいという特徴があります。日常生活で困難を感じている子どもが、個性を伸ばしながら、成長していくためには、周囲にいる私たちが、得意なことや苦手なことを理解し、個性を認めることが大切です。

その子どもに合った方法で、サポートすることにより、本来持っている力を発揮できるようになります。



発達障がいの種類と特性の一例

◎自閉スペクトラム症

- ・話すことや対人関係づくりが苦手
- ・興味・関心の偏りがある
- ・こだわりが強い

◎注意欠如・多動性障害（ADHD）

- ・集中できず落ち着きがない
- ・忘れ物が多く、物をなくしやすい

◎学習障害（LD）

- ・「読む」「書く」「計算する」などの特定のことが極端に苦手

子どもの成長に不安を感じたら

発達障がいは、幼少期からの早めの気付きと、その子どもに合った適切なサポートにより、生活のしづらさを軽減することができます。

Mallmall 2階の市保健セン

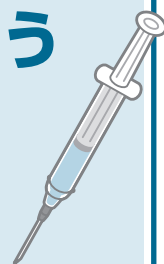
ターでは、プライバシーに配慮した親身な対応を行っています。子どもの成長で少しでも気になることがあるときは、まずは、同センターに相談ください。

麻疹・風しんを

予防しましょう

人から人へ感染する感染症として、麻疹・風しんなどが知られていますが、感染すると脳炎や難聴などの重い症状を引き起こす可能性があります。子どもの健康のために、予防接種を受けましょう。

◎都城市保健センター ☎36-5661



他に気を付けたい感染症は？

百日ぜき・水痘（水ぼうそう）・おたふくかぜに感染すると、登園・登校ができない「出席停止」の対象となります。まずは、予防接種をできる限り対象年齢内で受けて、重症化予防につなげましょう。市が費用を助成する予防接種など詳しくは、市ホームページを確認ください。



受けるときは気を付けて

直接、医療機関に予約を入れ、他の患者さんとの接触をなるべく減らしましょう。また、子どもの体調の良い日に受診するようにしましょう。



大人も予防接種が受けられます

日常はもちろん、海外移住などのために個人で予防接種を受けることができます。かかりつけ医などへ相談ください。

なお、妊娠を考えている人は、無料で県の実施する風しん抗体検査を利用することも可能です。詳しくは、都城保健所（☎23-4504）へ問い合わせください。